

ナルニア国物語

魔術師のおい

22

C・S・ルイス

土屋京子・訳

玉樹庵・画

(光文社古典新訳文庫刊)

第22話 ディゴリーとアンドリュー伯父の試練(後編)

なぜ魔女が
この国へ来たのか

話して
聞かせなさい

：ぼくが
連れて
きたのです

アスラン

ぼく

魔女を
ぼくたちの
世界から
連れ出して

もといた世界へ
もどした
かったんです

そこへ
連れていった
つもりでした

いかなる
目的で？

どのようなわけで
魔女は
あなたの世界に
やってきたのか

アダムの
息子よ？

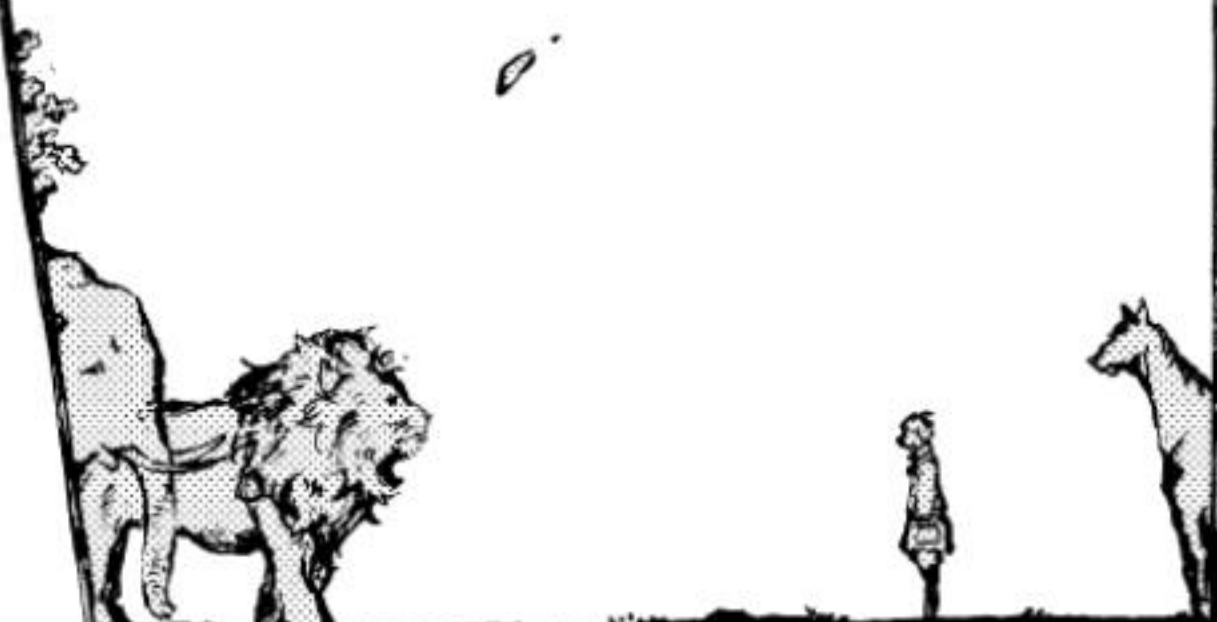
魔術……

……のせいです



：ぼくの
伯父のせい
なんです

アスラン





伯父は魔法の指輪を使って

ポリーとぼくを
ぼくたちの世界から
送り出したんです

とにかく

ぼくは行くしか
ありません
でした

伯父がポリーを
先に送って
しまったから

…で

そのあと

ぼくたちは
チャーンという
場所で
魔女に出会って…



…あの



ぼくたちが
もどるときに
魔女がついてきて



魔女に
出会った

…と？



魔女が目を
さましたんです





ぼくが
目ざめさ
せたんです



ベルを打ったら
どうなるか
知りたくて



ぼく――



ポリーは
反対しました

だから
ポリーのせいじゃ
ないんです



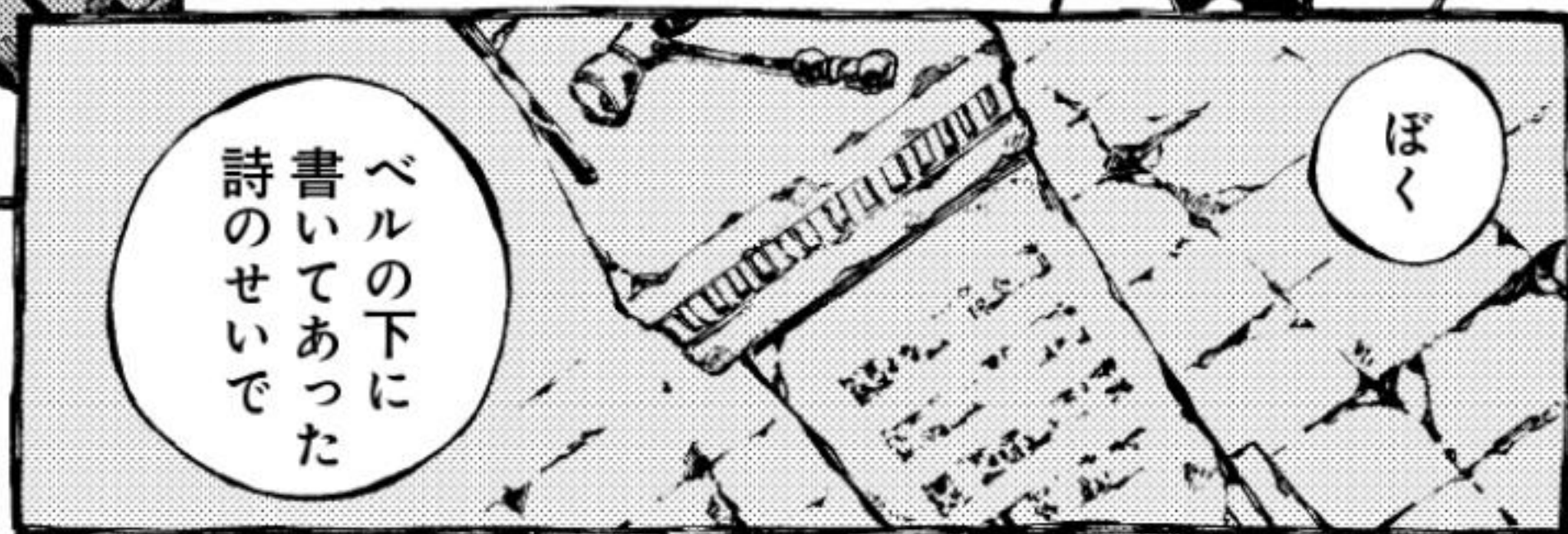
……ぼく



ポリーを
力ずくで
押さえつけました

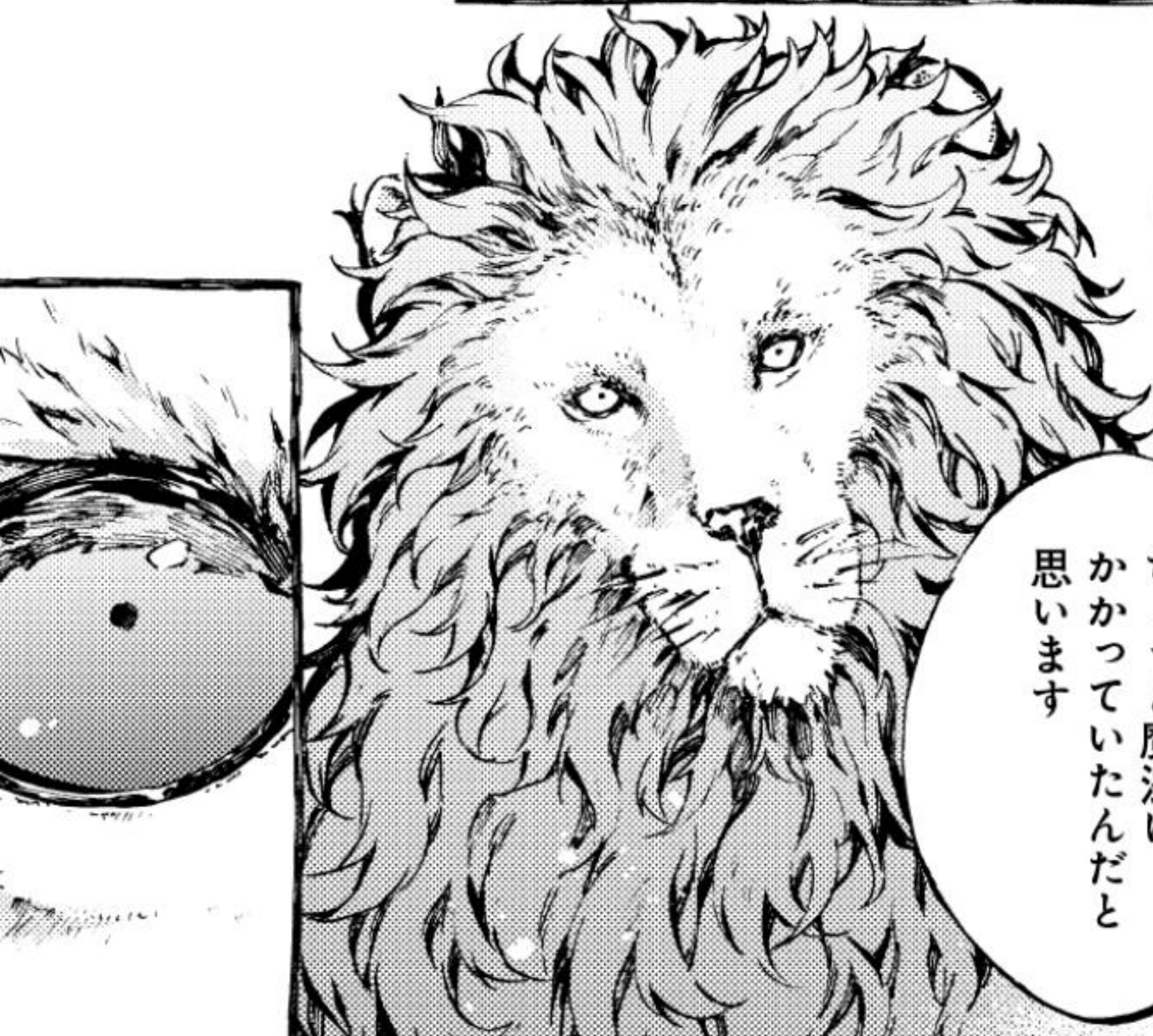
悪いことを
したって

わかって
います



ぼく

ベルの下に
書いてあった
詩のせいで



ちよっと魔法に
かかっていたんだと
思います





そうかな？

…いいえ

いま
考えると

そうじゃ
なかったと
思います

ぼく

魔法に
かかったふりを
していただけです

…これで
何もかも

ために
なっちゃった



母さんに
何も持って帰って
あげられなく
なっちゃった



聞いたか
友よ



七時間も
たたぬうちに
悪の力が
はいりこんだ

わたしが
あなたがたに与えた
新しく
けがれの無い世界に





その悪から
わざわざいが
生じるであらう

しかし
それはまだ
はるかに先のことだ

それまでの
あいだは

そして
わたしは

最悪の事態が
わたしに
ふりかかるように
しておく

何百年にも
わたり

アダムの息子が
わざわざいを
もたらしたので
あるから

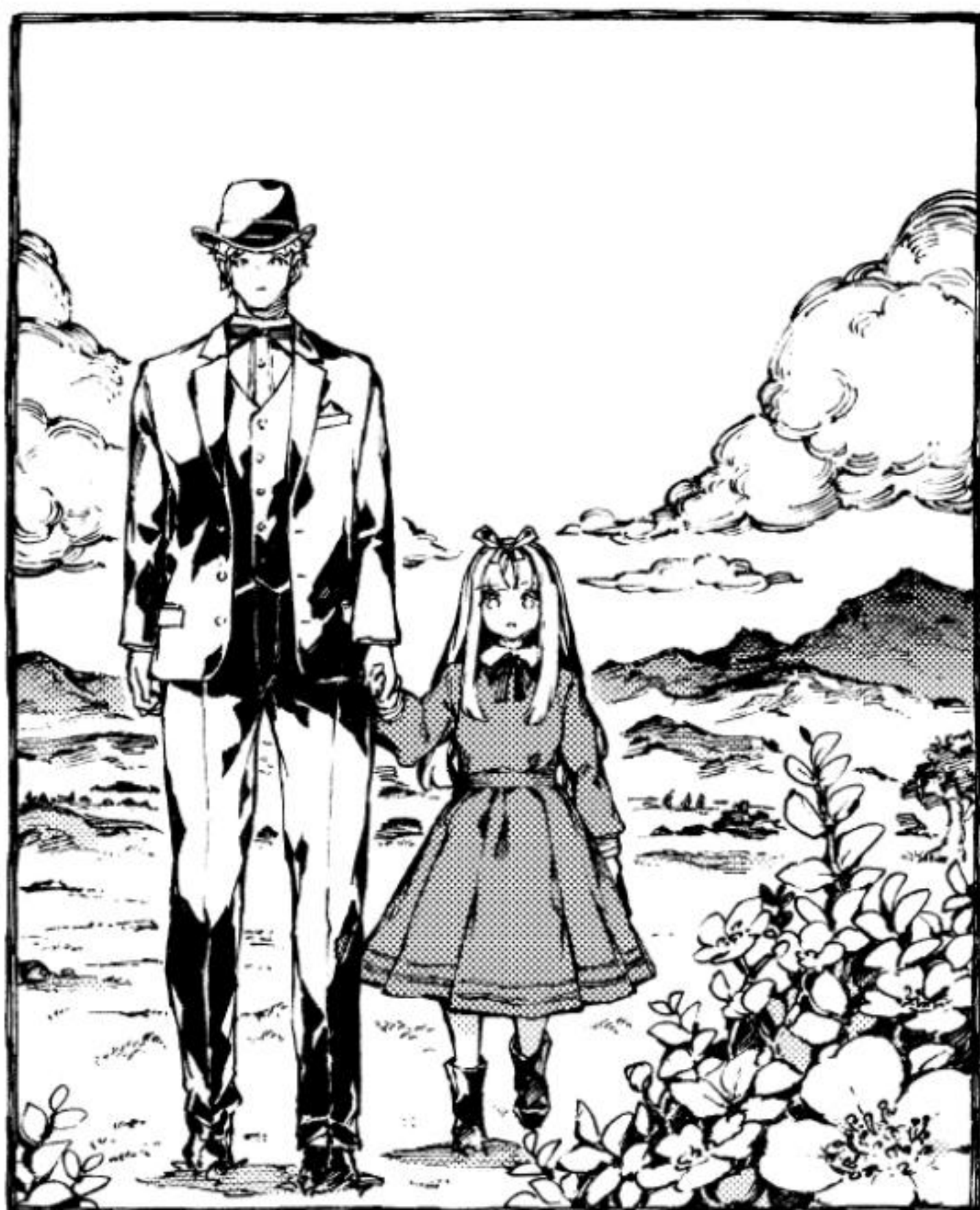
アダムの息子に
わざわざいをしりぞける
助けとなってもらう

こちらへ
来なさい

この地が
心楽しき世界の
心楽しき国で
ありつつけるよう

手段を
講じるとしよう

その
二人





わたしは
あなたを昔から
知っている



あなたは
わたしを
知っているか？

少なく
とも

ふつうの
意味では



いえ

存じ
ません



でも

どういう
わけだか



ご無礼を承知で
言わして
もらうんなら

前にお目
にかかったこと
があるよう
な
気もします

よろしい



あなたは

この地を
どう思うか？

すごく
いいとこだと
思います



あなたは
自分で
思っているよりも
よくものを
わかってる

そして

これから
わたしについて
もっとよく
知ることになろう

ここにずっと
住みたいと
思うか？

はあ

あの…

あたしには
家内が
おりますんで

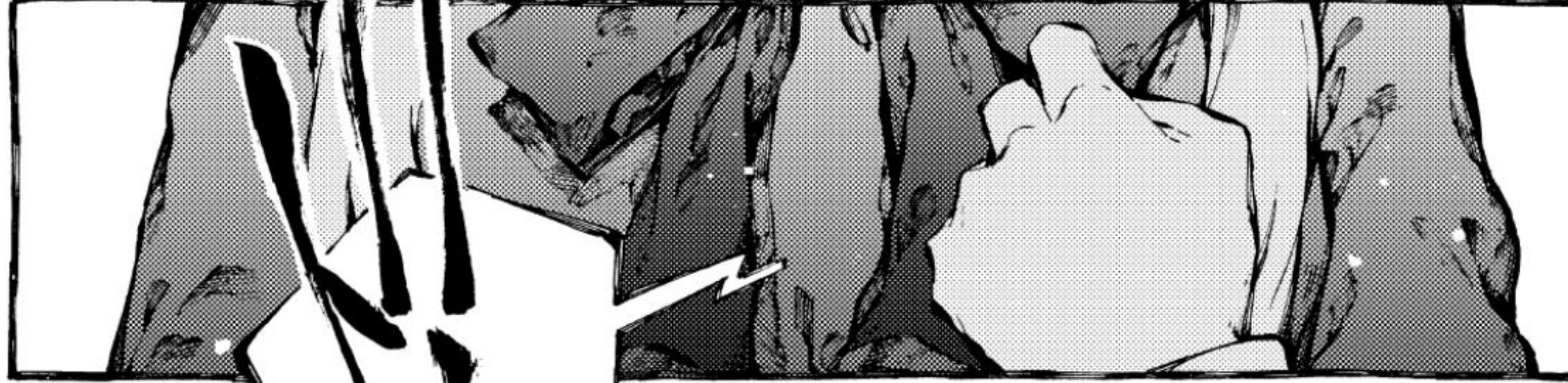
もし家内が
いっしょ
でしたら

あたしら二人とも
ロンドンに
もどりたいたなんて

これっぽちも
思わないだろうと
存じます

あたしら
二人とも

もともとは
田舎の出
なんで



——これは
呼び声にちがいない

その呼び声を
聞いた者は

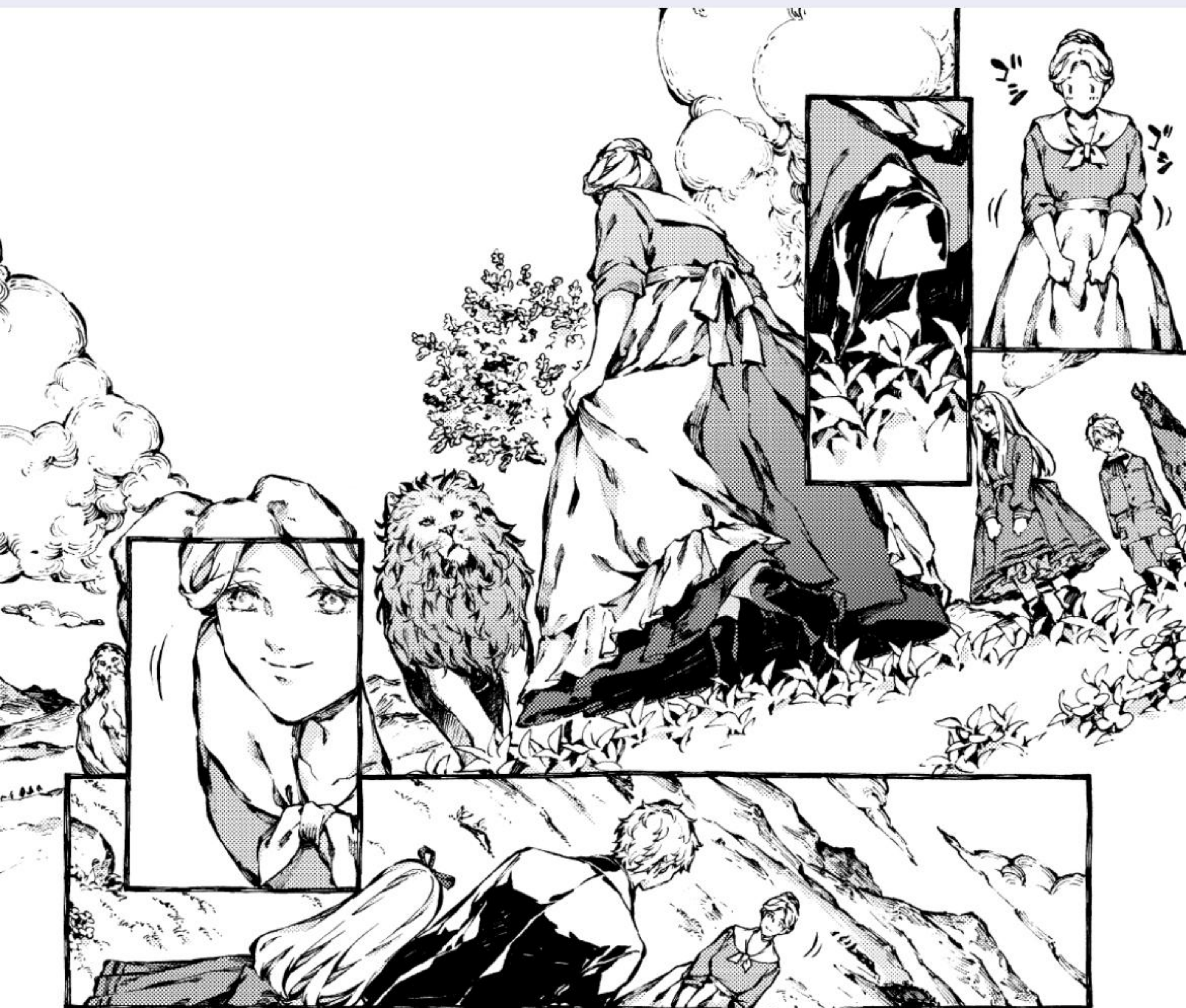
誰でもその声に
従いたいと思い

どれほど
遠い世界や
遠い時代においても

その声に
従うことが
できるのだ









あなたがたを
ナルニア初代の
王と女王とする



あなたがたは
すべての生き物を
統べ

名づけ

公正に
扱い

敵が
あらわれたときには
敵から
守ってやりなさい

敵は
あらわれるで
あろう

なぜなら
この世界には
邪悪な魔女が
いるからだ

すみません







人間と
いうもんは

じつさいに
試されるときが来ないと
ほんとのところは
わからないと思います

こぶしで
殴りあう以上のけんかを
したことがないもんで

あたしも

もしかしたら
臆病者の顔を
さらすことに
なるかもしれません

自分の役目を
果たすように
がんばります

——できるだけ

……という
意味ですが

よろしい

あなたは
王のなすべきことを
すべて果たすであろう



まもなく
戴冠式をおこなう



あなたと
あなたの子どもたちと
あなたの孫たちは
祝福され



ある者は
ナルニアの王となり

またある者は
南の山々の
かなたに広がる
アーケン国の王と
なるであろう

それから

そちらの娘よ

あなたも
よく来た

あなたは
呪われた
チャーリーにおいて

廃墟と化した
宮殿の
《肖像の間》で

この少年があなたに
暴力を働いたことを
許したか？

はい

アスラン

もう
仲直り
しました

よろしい

次は
この少年だ

それでは

つづく